

ICM Internet Script Editor のユーザ権限

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[ユーザ権限を割り当てて下さい](#)

[ユーザを追加して下さい](#)

[機能コントロールセットを作成して下さい](#)

[WebView およびインターネットスクリプトエディタアトリビュートだけ割り当てて下さい](#)

[インターネットスクリプトエディタエラー保存は \[FLT04450444\] のスクリプトを書きます](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

はじめに

このドキュメントは、ICM 環境の Internet Script Editor で Intelligent Contact Management (ICM) スクリプトを編集するときに、ユーザ権限を定義する方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントを読むには、次の知識が必要です。

- Cisco ICM

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のハードウェアに基づくものです。

- Cisco ICM バージョン 5.0とそれ以降

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

背景説明

インターネット スクリプト エディタは機能 ICM スクリプト エディタまたはインターネット スクリプト エディタ 機能 ソフトウェア機能性いくつかまたはすべてからユーザを、かユーザのクラスを、制限するのに制御使用します。たとえば、ICM ソフトウェア 管理者はスクリプトの特定の種類の実行から編集します一定のユーザを制限できます。

システム アドミニストレータは編集します機能をインターネット スクリプト エディタへのアクセスを制限するのにこれらのメソッドを使用できます:

- オプションを編集して下さい
- Script ノード制御

管理者はまた両方の機能制御オプションの組み合わせを利用できます。この資料は Script ノード制御に集中します。

ユーザ 権限を割り当てて下さい

インターネット スクリプト エディタにユーザ 権限を割り当てるためにこれらの発注された手順を完了して下さい:

1. [ユーザを追加して下さい](#)
2. [機能コントロール セットを作成して下さい](#)
3. [WebView およびインターネット スクリプト エディタ アトリビュートだけ割り当てて下さい](#)

ユーザを追加して下さい

機能セットが割り当てられるユーザを追加するためにこれらのステップを完了して下さい:

1. コンフィギュレーションマネージャを開始するために Start > Programs > ICM Admin Workstation > Configuration Manager の順に選択して下さい。Configuration Manager ダイアログボックスは表示されます。
2. >リスト ツール> ユーザー一覧 『Tools』 を選択して下さい。
3. 新しいユーザを追加するためにユーザ セクションで (左で) 『Add』 をクリックして下さい。Attributes ダイアログボックスは表示されます ([図を 1](#)) 参照して下さい。
4. ドメイン名の適切な情報を、ユーザネーム、パスワード入力し、Password フィールドを確認して下さい。 [図 1-インターネット スクリプト エディタにユーザを追加して下さい](#)

Attributes

Domain name * ICM60

User name * johndow

Description

Password *****

Confirm password *****

Can create other user accounts

Read only

WebView and Internet Script Editor only

Customer All Customers

Feature control set testfeatureset

A

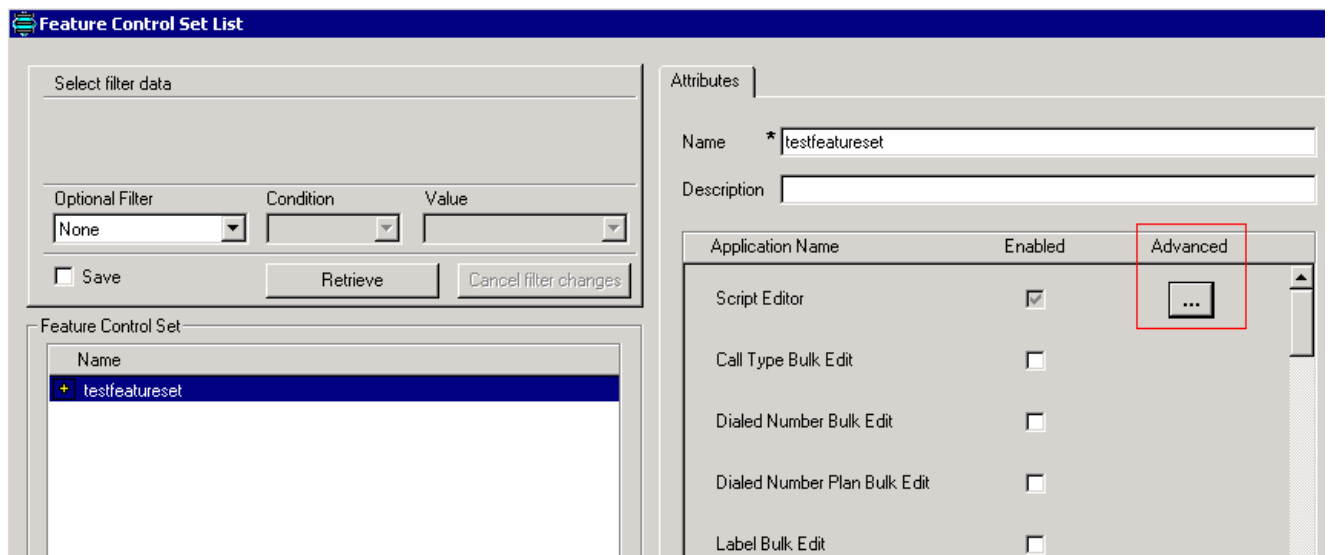
B

5. **WebView** およびインターネット スクリプト エディタ チェックボックスだけクリックして下さい ([図](#) の矢印 A を [1](#)) 参照して下さい。
6. Description フィールド (オプションの) の説明を入力して下さい。
7. ユーザー一覧ウィンドウ **SAVE** ボタンをクリックして下さい。

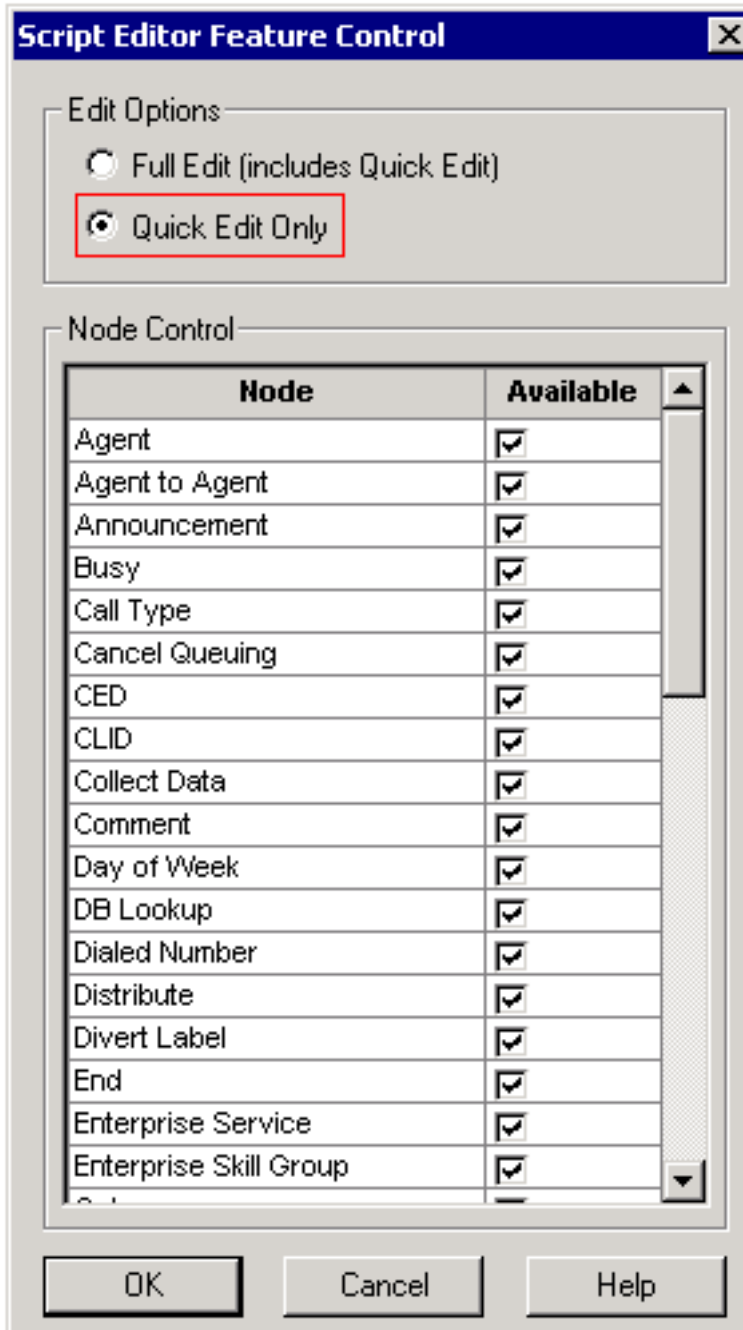
[機能コントロール セットを作成して下さい](#)

システム アドミニストレータは ICM ディストリビューターの ICM コンフィギュレーションマネージャを機能コントロール セットを作成するのに使用できます。機能コントロール セットを作成するためにこれらのステップを完了して下さい:

1. コンフィギュレーションマネージャを開始するために Start > Programs > ICM Admin Workstation > Configuration Manager の順に選択して下さい。Configuration Manager ダイアログボックスは表示されます。
2. >リスト ツール > **機能コントロール セット リスト** 『Tools』 を選択して下さい。
3. 機能コントロール セット セクションで 『Add』 をクリックして下さい (左)。
4. **Attributes** タブをクリックして下さい。
5. アトリビュート タブ名フィールドの機能コントロール セットの名前を入力して下さい ([図](#) を [2](#)) 参照して下さい。名前は機能 コントロールによって設定 される領域で Attributes タブをクリックするとき表示されます (左)。 [図 2-機能コントロール セット リスト](#)




6. アトリビュート タブ Description フィールド (オプションの) の説明を入力して下さい。
7. Advanced カラムの...ボタンをクリックして下さい (図を 2) 参照して下さい。ザ・ スクリプト エディタ 機能 制御 ウィンドウは下記のように表示されます:図 3-スクリプト エディ



8. **速いの編集します** Radio ボタンだけクリックして下さい。
9. [OK] をクリックします。
10. 機能 コントロールによって設定 される リスト ウィンドウ **SAVE ボタン**をクリックして下さい。

[WebView およびインターネット スクリプト エディタ アトリビュートだけ割り当てて下さい](#)

機能コントロール セットに WebView によってユーザおよびインターネット スクリプト エディタ アトリビュートだけ割り当てて下さい

1. コンフィギュレーションマネージャを開始するために Start > Programs > ICM Admin Workstation > Configuration Manager の順に選択 して下さい。Configuration Manager ダイアログボックスは表示されます。
2. >リスト ツール> ユーザー一覽 『Tools』 を選択 して下さい。
3. 機能コントロール セットが割り当てられるユーザを選択して下さい。
4. 機能コントロール セットを廃棄しますアトリビュート タブのリスト ボックスを使用して下さい ([ステップ 3](#) で選択した設定 するために選択するように  の矢印 B をユーザ向けに機能を [1](#)) 参照して下さい。
5. [Save] をクリックします。

[インターネット スクリプト エディタ エラー保存は \[FLT04450444\] のスクリプトを書きます](#)

ISE に接続することを試みるときログイン、開いたおよびビュー スクリプトにでき、編集モードにスクリプトを入れます; ただし、スクリプトを保存することを試みるとき `<script name>` エラーメッセージ受け取ります。

[解決策](#)

これはファイアウォールの IPS が HTTP 要求のサイズによる接続を破棄する場合発生する場合があります。HTTP 要求を廃棄しないようにこの問題を解決するために、ファイアウォールを設定して下さい。

[関連情報](#)

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)